

中小廃棄物処理施設における先導的廃棄物処理システムの評価・検証を行います。

1. 事業目的

- ① 市区町村と先導的な技術を有する企業が共同で、地域特性を十分踏まえた廃棄物エネルギー利活用に係る技術評価・検証事業を行う。
- ② 本事業で得られた技術的知見等を広く水平展開し、他の中小廃棄物処理施設への導入の一層の促進を図るとともに、中小廃棄物処理施設のマルチベネフィット（自立・分散型エネルギー社会や地域防災能力の構築等）にも着目する。

2. 事業内容

- 第5次環境基本計画で打ち出された「地域循環共生圏」は、自立・分散型の社会を形成しつつ近隣地域等と地域資源を補完し支え合う考え方であり、中小廃棄物処理施設においても地域活性化に取り組むことが重要である。
- バイオマスをはじめとした廃棄物エネルギーは十分に活用されておらず中小規模（特に100t/日未満）の廃棄物処理施設では、発電などの余熱利用がほとんど行われていない。
- 現在の廃棄物発電の主流である廃熱ボイラ+蒸気タービン方式は、中小規模施設では効率が低下する課題があり、エネルギー効率のより高い先導的な技術・システムの評価・検証が必要である。そこで、以下の事業について委託を行う。

(1) 中小廃棄物処理施設における先導的廃棄物処理システム化等評価・検証事業 (600百万円)

- ①先導的廃棄物処理システム化技術評価・検証事業 (500百万円)
- ②先導的廃棄物処理要素技術評価・検証事業 (100百万円)

(2) 中小廃棄物処理を通じた資源循環・エネルギー回収促進方策モデル調査検討事業 (50百万円)

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
- 委託先 (1)民間団体及び地方公共団体 (2)民間団体
- 実施期間 平成29年度から令和2年度まで
(令和元年度までに採択された継続事業のみ)

4. 事業イメージ

中小廃棄物処理施設へのシステム化技術・要素技術の事例

